

介護職の研修制度

上海市では2020年までに10万人の研修修了者を輩出することを目標

に、利用者のADL維持向上を目的とした「养老护理員（医疗照护）」訓練研修が2016年より開始されています。

この研修は取得までに2ヵ月程度を要し、受講料は2710元/人ですが、市補助金政策として1940元/人が賄われます。研修は全256コマ（1コマ40分）で、技術座学160コマ、病院

臨床96コマ用意されています。内容はリハビリや血糖値測定方法、骨折や火傷時の緊急対応、身体介護や生活援助などで、

市内40施設で受講できます。

中国では一人っ子政策以降、子供が家事を手伝わず家政婦に依頼するケースが増え、そのサービスは掃除洗濯や炊事以外にも、ベビーシッターや介護にまで細分化され、

サービス利用者は上海都市部だけに限らず、中国全土に広まったと専門家は言います。

このような経緯から今の中国介護業界における介護職員は「阿姨（アーイ）」と呼ばれる家政婦が大半を占めています。介護の専門知識がないため、適切な時期に介助やリハビリを提供する事が出来ていない状況にあり

介護職の専門性向上へ

ます。

上海のある介護施設管理者によると、

専門知識を身につけずに現場に入った人は、利用者の感情を無視し、些細な願いをも「わがまま」と取り、いかに業務を早く終わらせられるか、という事にしか考えが向かないそうです。このような状況が続くと利用者のADL低下は加速し、「生きる意欲」を失うまでに至ります。

しかし日本の介護は中国とは異なり、自立支援を重んじ、利用者のADLを最大限に維持向上する事を目的としている理

中国の高齢者マーケット

～介護・不動産事業の行方～

ゲストハウス総経理
稲田義人



著者プロフィール
ゲストハウス総経理。中国事業に携わって7年、介護職員養成学校の立ち上げや日本式介護研修の実施、また、日系介護企業を集めての上海シニア産業フェアの主催等、上海シニア事業全てを総指揮。

念を、この研修制度を通じて、少しでも学んでいかななくてはならないと言っていました。

この管理者の話聞いて、今後中国の介護業界はますます発展していくのではないかと感じました。